

- T, Ida H, Aoyagi K, **Eguchi K**. Early prediction of rheumatoid arthritis by serological variables and magnetic resonance imaging of the wrists and finger joints: results from prospective clinical examination. **Ann Rheum Dis** 65 (1): 134-135, 2006.
- 61) 江口勝美. 関節リウマチの活動性評価と寛解評価. **Rheumatology Clinical Update** 16: 14-19, 2009.
- 62) 江口勝美, 玉井慎美, 川上 純, 藤川敬太, 有馬和彦, 山崎聡士, 荒牧俊幸, 折口智樹, 宇佐俊郎. リウマチ(膠原病)・アレルギー学. **日本医事新報** 4425: 63-73, 2009.
- 63) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断. **カレントセラピー** 27 (6): 485-490, 2009.
- 64) 江口勝美, 宇佐俊郎, 上谷雅孝. 非造影 1.5T MRI 画像により関節リウマチ発症を早期に予測できるのか? **分子リウマチ治療** 2 (1): 27-33, 2009.
- 65) 江口勝美. リウマチ発症を早期に予測する手段とは? **Mebio** 26 (7): 71-85, 2009.
- 66) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防. **平成 20 年度 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 研究報告書** :1-28, 2009.
- 67) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断、早期治療、病態解析に関する研究. **平成 20 年度 厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業 研究報告書** :52-65, 2009.
- 68) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防. **厚生労働科学研究費補助金 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 平成 20 年度 総括・分担研究報告書** :3-38, 2009.
- 69) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断、早期治療、病態解析に関する研究. **厚生労働科学研究費補助金免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業 平成 19 年度総括・分担研究報告書** :65-78, 2009.
- 70) 江口勝美. 5. 早期診断予測と早期治療. **医薬ジャーナル** 45 (10): 105-113, 2009.
- 71) 川上 純, 玉井慎美, 川尻真也, 岩本直樹, 江口勝美. 【内科医が診る関節リウマチ State of Art】 診断に必要な知識とは? 内科医が知っておくべきポイント 早期診断に必要な検査とは? **内科** 103 (4): 641-644, 2009.
- 72) 川上 純, 川尻真也, 玉井慎美, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 江口勝美. 関節リウマチの寛解導入に関するマーカーの抽出に関する研究. **平成 20 年度 厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 研究分担報告書** :50-57, 2009.
- 73) 川上 純, 玉井慎美, 中島宗敏, 安部恵代, 青柳 潔, 江口勝美. ELISA 法による抗 CCP 抗体測定キット(コスミック社)の臨床的評価. **医学と薬学** 61(4): 647-650, 2009.
- 74) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 江口勝美. 【関節リウマチ 治癒を目指す治療の新時代へ】 治療に直結する病因・病態研究最前線 治療反応性と関連する予後因子. **最新医学** 64 (5): 974-980, 2009.
- 75) 川上 純, 江口勝美. 【新たな生物学的製剤によるリウマチ性疾患の治療】 Abatacept による RA の治療. **リウマチ科** 41 (3): 246-251, 2009.
- 76) 玉井慎美, 川上 純, 藤川敬太, 有馬和彦, 山崎聡士, 荒牧俊幸, 折口智樹, 宇佐俊郎, 江口勝美. 【臨床医学の展望 2009

- 診断および治療上の進歩】 リウマチ(膠原病)・アレルギー学 1. RA (2) RA における画像診断. **日本医事新報** 4425: 65-66, 2009.
- 77) 川尻真也, 川上 純, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 有馬和彦, 中村英樹, 喜多雅子, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. 肺胞出血および急速進行性糸球体腎炎により再燃した顕微鏡的多発血管炎の一例. **日本臨床免疫学会誌** 32 (3): 189-194, 2009.
- 78) 川上 純, 川尻真也, 玉井慎美, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 江口勝美. 関節リウマチの寛解導入に関するマーカーの抽出に関する研究. **免疫アレルギー医療分野, 平成 20 年度厚生労働科学研究費補助金(免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業) 研究分担報告書第 2 分冊** : 119-126, 2009.
- 79) 川上 純, 玉井慎美, 喜多潤子, 川尻真也, 岩本直樹, 江口勝美. Undifferentiated arthritis におけるアウトカム予測と治療法の決定. **リウマチ科** 42 (1): 60-64, 2009.
- 80) 川上 純, 玉井慎美, 喜多潤子, 川尻真也, 岩本直樹, 江口勝美. 特集 膠原病・リウマチ性疾患診察のより深い理解を目指して トピックス I. 診断を的確に下すために 1. 診断不明の関節炎を如何に診断するか. **日本内科学会雑誌** 98 (10): 2414-2420, 2009.
- 81) 江口勝美. 特集 関節リウマチの治療目標～寛解と QOL の向上を目指して～ 5. 早期診断予測と早期治療. **医薬ジャーナル** 45 (10): 105-113, 2009.
- 82) 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美, 青柳 潔, 上谷雅孝. 関節リウマチに進展する診断未確定関節炎の特徴. **九州リウマチ** 29 (2): 69-73, 2009.
- 83) 上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 【早期リウマチ】 早期関節リウマチの MRI 診断. **整形・災害外科** 52 (10): 1169-1177, 2009.
- 84) 江口勝美. リウマチ・膠原病の早期診断. **からだの科学** 256: 24-29, 2008.
- 85) 江口勝美. TNF 阻害薬と結核症 **呼吸器** 13 (1): 84-91, 2008.
- 86) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断・治療—その重要性と実際— **Medical Practice** 25 (8): 1341-1347, 2008.
- 87) 江口勝美, 上谷雅孝. MRI を用いた関節リウマチの早期診断予測 **関節外科** 27 (10 増刊) : 82-95, 2008.
- 88) 江口勝美, 宇佐俊郎, 上谷雅孝. 画像診断. **総合臨床** 57 (12): 2846-2854, 2008.
- 89) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断予測と適切な治療. **日本臨床内科医会誌** 23 (4): 389-397, 2008.
- 90) 松原 司, 江口勝美, 三森経世. 関節リウマチの診断方法の進歩. **診断と治療** 96 (2) :369-376, 2008.
- 91) 江口勝美, 右田清志, 川上 純, 折口智樹, 井田弘明, 中村英樹, 玉井慎美, 蒲池 誠. 【臨床医学の展望】リウマチ(膠原病)・アレルギー学. **日本医事新報** 4372: 64-73,2008.
- 92) 井田弘明, 江口勝美. TRAPS の分子病態. **炎症と免疫** 16(2): 139-148,2008.
- 93) 一瀬邦弘, 川上 純, 江口勝美. 早期症例への積極的導入の意義. **Progress in Medicine** 28(1): 41-47,2008.
- 94) 折口智樹, 江口勝美. 新しい生物学的製剤開発の現状と将来展望. **Progress in Medecine** 28(1): 91-97,2008.
- 95) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 江口勝美. 【早期診断・早期治療のこつと治療のアルゴリズム】関節リウマチ. **内科** 101(4): 629-634,2008.

- 96) 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. EULAR 早期関節ガイドライン. リウマチ科 39(5): 449-453, 2008.
- 97) 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 早期関節炎と関節リウマチ. 長崎市医師会報 42(6): 36-39, 2008.
- 98) 川尻真也, 川上 純, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. 高尿酸血症の持続により持続性の多発関節炎を呈した慢性結節性痛風の一例. Jpn J Clin Immunol 31(3):190-194, 2008.
- 99) 井田弘明, 一瀬邦弘, 荒牧俊幸, 右田清志, 江口勝美. TNF receptor-associated periodic syndrome(TRAPS)の全国疫学調査. 小児科 49 (10): 1349-1356, 2008.  
川上 純, 玉井慎美, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川啓太, 江口勝美. 診断未確定関節炎の治療. リウマチ科 40(3): 303-308, 2008.
- 100) 上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. PART2. 骨関節疾患の MR imaging. 関節炎の MRI. 関節リウマチを中心に. 臨床画像 24(11): 1336-1345, 2008.
- 101) 塩月香那子, 後藤貴史, 宮明寿光, 市川辰樹, 中尾一彦, 江口勝美. 抗 GAD 抗体陽性 C 型慢性肝炎に対するインターフェロン療法の検討. 肝臓 49 (3) : 122-124, 2008.
- 102) 阿比留教生, 江口勝美. 自己抗原の経粘膜投与による自己免疫疾患の発症抑制—1 型糖尿病とインスリン B 鎖ペプチドを中心に—. 臨床免疫・アレルギー科 50 (1): 90-97, 2008.
- 103) 川崎英二, 江口勝美. 糖尿病基礎研究の進歩. 糖尿病と耐糖能低下の成因分類と発症機序 1 型糖尿病 膵島炎発症の分子メカニズム. 日本臨床 66 (増 3): 348-353, 2008.
- 104) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断による発症及び重症化予防. 厚生労働科学研究費補助金 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 平成 19 年度総括・分担研究報告書, pp.3-28, 2008.
- 105) 江口勝美. 病態形成における TH17 細胞と制御性 T 細胞の役割とその統御方法の開発. 早期診断予測基準と早期関節破壊進行基準の妥当性の研究. 厚生労働科学研究費補助金 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 平成 19 年度総括・分担研究報告書, pp.63-74, 2008.
- 106) 荒牧俊幸, 井田弘明, 岩本直樹, 藤川敬太, 一瀬邦弘, 岩永 希, 玉井慎美, 有馬和彦, 蒲池 誠, 中村英樹, 川上 純, 江口勝美, 折口智樹, 中島宗敏, 塚田敏昭, 松岡直樹, 植木幸孝, 福田孝昭. 多施設における関節リウマチ患者に対するタクロリムスの短期成績. 九州リウマチ 26 (2): 102-108, 2007.
- 107) 岩本直樹, 川上 純, 江口勝美, 後藤明子, 福田孝昭, 中島宗敏, 河部庸次郎, 松岡直樹, 溝上明成, 古山雅子, 塚田敏昭, 右田清志, 峰 雅宣, 植木幸孝. 関節リウマチに対するエタネルセプトの治療成績の検討: 併用抗リウマチ薬による層別化. 九州リウマチ 27: 8-14, 2007.
- 108) 岩本直樹, 荒武弘一朗, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美, 折口智樹. ミゾリビン投与により寛解を得られている増殖性ループス腎炎の 1 例. 九州リウマチ 27: 41-45, 2007.
- 109) 中島宗敏, 川上 純, 江口勝美. Mollaret 髄膜炎を合併したリウマチ性多

- 発筋痛症の一例. 九州リウマチ 27: 52-55, 2007.
- 110)一瀬邦弘, 川上 純, 江口勝美. 【関節リウマチにおける生物学的製剤の実際と問題点】 アダリムマブ -PREMIER 試験の示すもの-. リウマチ科 37 (1): 17-21, 2007.
- 111)江口勝美, 折口智樹, 一瀬邦弘, 川上純. 【新薬展望 2007】治療における最近の新薬の位置付け<薬効別>. 新薬の広場. 抗リウマチ薬. 医薬ジャーナル 43 (増刊): 386-393, 2007.
- 112)川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 早期関節炎の捉え方と病態解析の方向性. 日本臨床免疫学会会誌 30 (1): 37-40, 2007.
- 113)江口勝美. 【プライマリ・ケア医のための関節リウマチの診かた 知っておきたいその基本と最新知見】 関節リウマチの早期診断. 治療 89 (2): 345-350, 2007.
- 114)江口勝美. 【関節リウマチの最新治療】 関節リウマチの早期診断とその意義. Medical Science Digest 33 (2): 697-701, 2007.
- 115)上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 【骨軟部画像診断の新たなる展開】 早期関節リウマチの MRI 診断. 日独医報 51 (4): 659-668, 2007.
- 116)江口勝美. ここまで知っておきたい痛みへのアプローチ 関節リウマチへの新たなアプローチ 1. 早期診断と早期治療. 痛みと臨床 7 (2): 172-179, 2007.
- 117)江口勝美. 【関節リウマチの骨・軟骨破壊】 関節破壊進行の予測因子. Clinical Calcium 17 (4): 517-525, 2007.
- 118)井田弘明, 江口勝美. 【Autoinflammatory syndrome の新たなる展開と治療法の確立】 TRAPS の診断と新しい治療法の展開. 日本臨床免疫学会会誌 30 (2): 90-100, 2007.
- 119)江口勝美, 折口智樹. 実践講座 疾患特有の評価法 関節リウマチ. 総合リハビリテーション 35 (4): 365-371, 2007.
- 120)江口勝美. 【リウマチ治療の新時代 治療薬を使いこなす】 関節リウマチの早期診断-いかに早期から診断するか?. 内科 99 (4): 587-594, 2007.
- 121)岩永 希, 川上 純, 江口勝美. 【関節リウマチのパラダイムシフト 生物学的製剤時代の最新治療動向】 生物学的製剤の最新エビデンス アダリムマブの欧米におけるエビデンス. 医学のあゆみ 221 (5): 437-440, 2007.
- 122)江口勝美. 卒後研修講座 関節リウマチの早期診断と臨床経過の予知. 整形外科 58 (5): 571-575, 2007.
- 123)江口勝美. 関節リウマチの早期診断と関節破壊進行の予知. 炎症と免疫 15 (4): 519-525, 2007.
- 124)藤川敬太, 川上 純, 江口勝美. 【生物学的製剤の免疫薬理と臨床 変貌する関節リウマチ治療ストラテジー】 主要な生物学的製剤の構造、免疫薬理学的特徴と有用性のエビデンス サイトカインを標的とする生物学的製剤. TNF 阻害薬可溶性 TNF 受容体 IgG キメラ(エタネルセプト). 日本臨床 65 (7): 1211-1217, 2007.
- 125)江口勝美. 【生物学的製剤の免疫薬理と臨床 変貌する関節リウマチ治療ストラテジー】 TNF 阻害薬の臨床 我が国における臨床成績を中心に 市販後全例使用成績が示す臨床的有用性と使用上の留意点 エタネルセプト. 日本臨床 65 (7): 1259-1266, 2007.
- 126)蒲池 誠, 江口勝美. 【SLE の発症機序と新たな治療法の探索】 SR 蛋白質のリン酸化、脱リン酸化と alternative splicing

- 制御. SLE (全身性エリテマトーデス)における病態的意義と新規治療法への展望. *リウマチ科* 38 (2): 109-112, 2007.
- 127)折口智樹, 江口勝美. 【新しい生物学的製剤】完全ヒト抗 TNF $\alpha$ 抗体 adalimumab. *炎症と免疫* 15 (5): 558-564, 2007.
- 128)井田弘明, 江口勝美. Autoinflammatory syndrome. *リウマチ科* 38 (3): 283-289, 2007.
- 129)江口勝美. 【関節リウマチ患者さんに信頼されるための最新知識とその活用】関節リウマチ・トピックス 関節リウマチと抗 CCP 抗体 早期診断と早期治療への有用性. *Medical Practice* 24 (10): 1783-1784, 2007.
- 130)井田弘明, 江口勝美. 【発熱と多関節痛を主訴とする疾患 その病因と膠原病との鑑別について】TRAPS (TNF receptor-associated periodic syndrome). *リウマチ科* 38 (4): 361-369, 2007.
- 131)江口勝美. 【整形外科医のための care と cure I RA の window of opportunity を逃さないために】整形外科医のための RA 診断. 診断未確定関節炎症例の RA 発症と関節破壊の出現・進行の予測. *骨・関節・靭帯* 20 (10): 941-949, 2007.
- 132)上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 【整形外科医のための care と cure I, RA の window of opportunity を逃さないために】整形外科医のための RA 診断. 早期関節リウマチの MRI. *骨・関節・靭帯* 20 (10): 983-991, 2007.
- 133)江口勝美. 関節リウマチと抗 CCP 抗体. *Medical Practice* 24 (10): 1783-1784, 2007.
- 134)江口勝美. 関節リウマチの診断. *Animus* 49 (春): 17-21, 2007.
- 135)川上 純, 中村英樹, 江口勝美. 【TNFファミリーの分子リウマチ学 基礎から臨床へ】FasL/Fas (CD95). *分子リウマチ* 4 (4): 320-323, 2007.
- 136)蒲池 誠, 江口勝美. シグナル伝達経路を介した alternative splicing の誘導 — その生物学的意義と制御メカニズム—. *Inflammation and Regeneration* 27 (6): 575-578, 2007.
- 137)江口勝美. 【関節リウマチ治療 インフリキシマブとエタネルセプト】エタネルセプトの使い方 ガイドライン. *Mebio* 24 (12): 50-56, 2007.
- 138)折口智樹, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 中村英樹, 川上 純, 江口勝美. ANCA 関連血管炎の病態と治療における最近の知見. *日本臨床免疫学会会誌* 30 (6): 432-443, 2007.
- 139)折口智樹, 江口勝美. 開発メーカーが知っておきたい抗体医薬品 (抗リウマチ薬) の有害事象. *Pharm Stage* 7 (5): 9-12, 2007.
- 140)江口勝美. 臨床免疫学概論. (木本雅夫, 阪口薫雄, 山下優毅 (編): *免疫学コア講義* 改訂 2 版, 南江堂, 東京, pp.169-175 所収), 2007.
- 141)江口勝美. 関節リウマチ. (木本雅夫, 阪口薫雄, 山下優毅 (編): *免疫学コア講義* 改訂 2 版, 南江堂, 東京, pp.203-208 所収), 2007.
- 142)江口勝美, 折口智樹. 感染性関節炎. (杉本恒明, 矢崎義雄 (編): *内科学*, 朝倉書店, 東京, pp.1104-1105 所収), 2007.
- 143)江口勝美. 関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究. 関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 (免疫アレルギー)

- ギー疾患予防・治療研究事業) 総括・分担研究報告書, pp.1-12, 2007
- 144)江口勝美. 関節リウマチに進展する早期関節炎の鑑別と早期からの関節破壊の予知に関する研究. 関節リウマチの早期診断法の確立及び臨床経過の予測に関する研究 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 (免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業) 総括・分担研究報告書, pp.31-42, 2007.
- 145)江口勝美, 蒲池 誠. RNA スプライシング異常による SLE 発症機序の解明と新規治療法の開発. 自己免疫疾患に関する調査研究 平成 18 年度厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 総括・分担研究報告書, pp.81-83, 2007.
- 146)中村龍文, 福島直美, 西浦義博, 荒牧俊幸, 井田弘明, 江口勝美. HAM 患者 HTLV- I 感染細胞における HTLV- I 産生に及ぼすインテグリン/リガンドシグナリングの検討. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成 18 年度総括・分担研究報告書, pp.108-110,2007.
- 147)本村政勝, 白石裕一, 福田 卓, 江口勝美, 吉村俊郎, 福留隆泰, 松尾秀徳, 辻畑光宏: 抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の合併症の検討. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 免疫性神経疾患に関する調査研究 平成 18 年度総括・分担研究報告書, pp.127-128,2007.
- 148)辻野 彰, 本村政勝, 江口勝美, 調漸: 治験実施に関する研究[酢酸リュープロレリン]. 厚生労働科学研究費補助金 (治験推進研究事業) 平成 18 年度総括・分担研究報告書, pp.292-293,2007.
- 149)Moriguchi M, Kamiya Y, Sakurai T, Terai C. A brachial-ankle pulse wave velocity is affected by the level of serum amyloid A in patients with systemic lupus erythematosus. *Arthritis Rheum* 58: 1584 ,2009.
- 150)和田英則, 寺迫桐子, 佐藤 謙, 佐藤美樹, 木村俊一, 仲宗根秀樹, 奥田慎也, 賀古真一, 山崎絵里, 大島久美, 樋口敬和, 西田淳二, 神谷百合香, 森口正人, 寺井千尋, 神田善伸. 治療抵抗性全身性エリテマトーデス (SLE) に対する自家末梢血幹細胞移植. *臨床血液* 50 (8): 674, 2009.
- 151)Kyogoku C, Morinobu A, Nishimura K, Sugiyama D, Hashimoto H, Tokano Y, **Mimori T**, Terao C, Matsuda F, Kuno T, Kumagai S. Lack of association between tyrosine kinase 2 (TYK2) gene polymorphisms and susceptibility to SLE in a Japanese population. *Mod Rheumatol* 19: 401-406, 2009.
- 152)Ito Y, Usui T, Kobayashi S, Iguchi-Hashimoto M, Ito H, Yoshitomi H, Nakamura T, Shimizu M, Kawabata D, Yukawa N, Hashimoto M, Sakaguchi N, Sakaguchi S, Yoshifuji H, Nojima T, Ohmura K, Fujii T, **Mimori T**. Gamma/delta T cells are the predominant source of interleukin-17 in affected joints in collagen-induced arthritis, but not in rheumatoid arthritis. *Arthritis Rheum* 60 (8): 2294-303, 2009.
- 153)Nakashima R, Imura Y, Kobayashi S, Yukawa N, Yoshifuji H, Nojima T, Kawabata D, Ohmura K, Usui T, Fujii T, Okawa K, **Mimori T**. The RIG-I-like receptor IFIH1/MDA5 is a dermatomyositis-specific autoantigen identified by the anti-CADM- 140 antibody. *Rheumatology* 2009 Dec 16 [Epub ahead of print]
- 154)Ito I, Kawasaki A, Ito S, Hayashi T, Goto D,

- Matsumoto I, Tsutsumi A, Hom G, Graham RR, Takasaki Y, Hashimoto H, Ohashi J, Behrens TW, Sumida T, **Tsuchiya N**. Replication of the association between *C8orf13-BLK* region and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. **Arthritis Rheum** 60: 553-558, 2009.
- 155) Ichikawa N, Kotake S, Hakoda M, Higami K, Kawasaki A, Furuya T, Nanke Y, **Tsuchiya N**, Tokunaga K, Kamatani N. Combining effects of polymorphism of tumor necrosis factor  $\alpha$  5'-flanking region and *HLA-DRB1* on radiological progression in patients with rheumatoid arthritis. **Mod Rheumatol** 19: 134-139, 2009.
- 156) Ito I, Kawaguchi Y, Kawasaki A, Hasegawa M, Ohashi J, Hikami K, Kawamoto M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S, Hara M, **Tsuchiya N**. Association of a functional polymorphism in the *IRF5* region with systemic sclerosis in a Japanese population. **Arthritis Rheum** 60: 1845-1850, 2009.
- 157) **Tsuchiya N**, Kawasaki A, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Kawaguchi Y, Kawamoto M, Hara M, Sato S. Association of *STAT4* polymorphism with systemic sclerosis in a Japanese population. **Ann Rheum Dis** 68: 1375-1376, 2009.
- 158) **Tsuchiya N**, Kawasaki A, Ito I. Role of *IRF5*, *STAT4* and *BLK* polymorphisms for the genetic predisposition to systemic lupus erythematosus in Japanese. **Inflammation Regenerat** 29: 190-197, 2009.
- 159) Ito I, Kawasaki A, Ito S, Kondo Y, Sugihara M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Takasaki Y, Hashimoto H, Matsuta K, Sumida T, **Tsuchiya N**. Replication of association between *FAM167A (C8orf13) - BLK* region and rheumatoid arthritis in a Japanese population. **Ann Rheum Dis** Published Online First: 9 September 2009. doi:10.1136/ard.2009.118760.
- 160) Ito I, Kawaguchi K, Kawasaki A, Hasegawa M, Ohashi J, Kawamoto M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S, Hara M, **Tsuchiya N**. Association of *FAM167A (C8orf13)-BLK* region with systemic sclerosis. **Arthritis Rheum** in press.
- 161) 土屋尚之. 関節リウマチの環境因子. 日本臨床 印刷中
- 162) Suzuki K, Kameda H, Amano K, Nagasawa H, Takei H, Sekiguchi N, Nishi E, Ogawa H, Tsuzaka K, Takeuchi T. Single center prospective study of tacrolimus efficacy and safety in treatment of rheumatoid arthritis. **Rheumatol Int** 29: 431-436, 2009.
- 163) Tsuzaka K, Itami Y, Amano K, et al. **Arthritis Rheum** 60: S345, 2009.
- 164) **Tsuzaka K**, Itami Y, Kumazawa C, Suzuki M, Setoyama Y, Yoshimoto K, Suzuki K, Abe T, Takeuchi T. Conservative sequences in 3'UTR of TCR $\zeta$  mRNA regulate TCR $\zeta$  in SLE T cells. **Biochem Biophys Res Commun** 367: 311-317, 2008.
- 165) Ohashi Y, **Tsuzaka K**, Takeuchi T, Sasaki Y, Tsubota K. Reduced expression of aquaporin 5 and its C-terminal binding protein in the lacrimal glands of a mouse model for Sjögren's syndrome. **Current Eye Res** 33: 621-629, 2008.
- 166) Suzuki K, Setoyama Y, Yoshimoto K, **Tsuzaka K**, Abe T, Takeuchi T. Effect of interleukin 2 on synthesis of B cell activating factor belonging to the tumor necrosis factor family (BAFF) in human peripheral blood mononuclear cells.

- Cytokine** 44: 44-48, 2008.
- 167)Ogawa H, Kameda H, Nagasawa H, Sekiguchi N, Takei H, **Tsuzaka K**, Amano K, Takeuchi T. Prospective study of low-dose cyclosporine A in patients with refractory lupus nephritis. **Mod Rheumatol** 17: 92-97, 2007.
- 168)**Tsuzaka K**, Matsumoto Y, Sasaki Y, Abe T, Tsubota K, Takeuchi T. Down-regulation of Fas-ligand mRNA in Sjögren's syndrome patients with enlarged exocrine glands. **Autoimmunity** 40: 497-502, 2007.
- 169)Suzuki K, Kobayashi S, Yamazaki K, Gondo M, Tomizawa K, Arimura Y, Nakabayashi K, Ozaki S, Yoshida M, Yoshida T, **Tsuzaka K**, Muso E, Okazaki T, Hashimoto H. Analysis of risk epitopes of anti-neutrophil antibody MPO-ANCA in vasculitis in Japanese population. **Microbiol Immunol** 51: 1215-1220, 2007.
- 170)津坂憲政. SLE T細胞におけるTCRと鎖発現低下. **最新医学** 63: 904-911, 2008.
- 171)津坂憲政. SLEモデルマウスはT細胞非依存性に発症する. **リウマチ科** 40: 181-184, 2008.
- 172)Fujikawa K, Kawakami A, Tamai M et al. High serum cartilage oligomeric matrix protein determines the subset of patients with early-stage rheumatoid arthritis with high serum C-reactive protein, matrix metalloproteinase-3, and MRI-proven bone erosion. **J Rheumatol** 36: 1126-1129, 2009.
- 173)Tamai M, Kawakami A, **Uetani M** et al. A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis using magnetic resonance imaging of the wrists and finger joints and serologic autoantibodies. **Arthritis Rheum** 61: 772-778, 2009.
- 174)上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美, 江口勝美. 【早期リウマチ】 早期関節リウマチのMRI診断. **整形・災害外科** 52: 1169-1177, 2009.
- 175)上谷雅孝. 目でみるシリーズ MRIによる関節リウマチの評価. **Frontiers in Rheumatology & Clinical Immunology** 3: 120-125, 2009.
- 176)Aramaki T, Kawakami A, Iwamoto N, Fujikawa K, Kawashiri S, Tamai M, Arima K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Nakashima M, Mizokami A, Furuyma M, Matsuoka N, Ueki Y, Ida H, Origuchi T, **Aoyagi K**, Eguchi K. Prediction of DAS28-CRP remission in patients with rheumatoid arthritis treated with tacrolimus at 6 months by baseline variables. **Mod Rheumatol**, in press.
- 177)Iwamoto N, Kawakami A, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri SY, Tamai M, Arima K, Ichinose K, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Nakashima M, Mizokami A, Goto A, Fukuda T, Matsuoka N, Ueki Y, Tsukada T, Migita K, Shoumura F, Kawabe Y, Shibatomi K, Mine M, Ida H, Origuchi T, **Aoyagi K**, Eguchi K. Prediction of DAS28-ESR remission at 6 months by baseline variables in patients with rheumatoid arthritis treated with etanercept in Japanese population. **Mod Rheumatol** 19 (5): 488-492, 2009.
- 178)Ichinose S, Nakamura M, Maeda M, Ikeda R, Wada M, Nakazato M, Ohba Y, Takamura N, Maeda T, **Aoyagi K**, Nakashima K. A validated HPLC-fluorescence method with a semi-micro column for routine determination of homocysteine, cysteine and cysteamine, and the relation between the thiol derivatives in normal human plasma.



- Biomed Chromatogr** 23 (9): 935-939, 2009.
- 179) Date Y, Abe Y, **Aoyagi K**, Ye Z, Takamura N, Tomita M, Osaki M, Honda S. Depressive symptoms in chinese factory workers in Nagasaki, Japan. **Ind Health** 47 (4): 376-382, 2009.
- 180) Sakai A, Toba N, Takeda M, Suzuki M, Abe Y, **Aoyagi K**, Nakamura T. Association of unipedal standing time and bone mineral density in community-dwelling Japanese women. **Osteoporosis International** 20: 731-736, 2009.
- 181) Nishiguchi M, Takamura N, Kono M, **Aoyagi K**. Estimation of Blood Loss in Total Knee Arthroplasty with and without Tourniquet. **Acta Med Nagasaki** 53: 105-109, 2009.
- 182) Fujikawa K, Kawakami A, Tamai M, Uetani M, Takao S, Arima K, Iwamoto N, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, **Aoyagi K**, Eguchi K. High serum cartilage oligomeric matrix protein determines the subset of patients with early-stage rheumatoid arthritis with high serum C-reactive protein, matrix metalloproteinase-3, and MRI-proven bone erosion. **J Rheumatol** 36: 1126-1129, 2009.
- 183) Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arima K, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, **Aoyagi K**, Eguchi K. A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis using MRI of wrists and finger joints and serologic autoantibodies. **Arthritis Rheum** 61 (6): 772-778, 2009.
- 184) Kitoh A, et al. Indispensable role of the Runx1-Cbfbeta transcription complex for in vivo-suppressive function of FoxP3+ regulatory T cells. **Immunity** 31 (4): 609-620, 2009.
- 185) **Sakaguchi S**, et al. Regulatory T cells: how do they suppress immune responses? **Int Immunol** 21 (10): 1105-1111, 2009.
- 186) Miyara M, et al. Functional delineation and differentiation dynamics of human CD4+ T cells expressing the FoxP3 transcription factor. **Immunity** 30 (6): 899-911, 2009.
- 187) Miyara M, et al. Therapeutic approaches to allergy and autoimmunity based on FoxP3+ regulatory T-cell activation and expansion. **J Allergy Clin Immunol** 123 (4): 749-755, 2009.
- 188) Nagahama K, et al. Differential control of allo-antigen-specific regulatory T cells and effector T cells by anti-CD4 and other agents in establishing transplantation tolerance. **Int Immunol** 21 (4): 379-391, 2009.
- 189) Wing K, et al. CTLA-4 control over Foxp3+ regulatory T cell function. **Science** 322 (5899): 271-275, 2008.
- 190) Wakasa-Morimoto C, et al. Arthritis and pneumonitis produced by the same T cell clones from mice with spontaneous autoimmune arthritis. **Int Immunol** 20 (10): 1331-1342, 2008.
- 191) Onishi Y, et al. Foxp3+ natural regulatory T cells preferentially form aggregates on dendritic cells in vitro and actively inhibit their maturation. **Proc Natl Acad Sci USA** 105 (29): 10113-10118, 2008.
- 192) **Sakaguchi S**, et al. Regulatory T cells and immune tolerance. **Cell** 133 (5): 775-787, 2008.
- 193) **Sakaguchi S**. Regulatory T cells in the past

- and for the future. **Eur J Immunol** 38 (4): 901-937, 2008.
- 194)Hirota K et.al, Preferential recruitment of CCR6-expressing Th17 cells to inflamed joints via CCL20 in rheumatoid arthritis and its animal model. *J Exp Med* 204 (12): 2803-12, 2007.
- 195)Yamaguchi Y, **Fujio K**, Shoda H, Okamoto A, Tsuno NH, Takahashi K, Yamamoto K. Interleukin-17B and interleukin-17C are associated with TNF-alpha production and contribute to the exacerbation of inflammatory arthritis. **J Immunol** 179: 7128-7136, 2007.
- 196)**Fujio K**, Okamura T, Okamoto A, Yamamoto K. T cell receptor gene therapy for autoimmune diseases. **Ann N Y Acad Sci** 1110: 222-232, 2007.
- 197)Iwanami K, Matsumoto I, Tanaka Y, Inoue A, Minami R, Hayashi T, Goto D, Ito S, Nishimura Y, **Sumida T**. Altered peptide ligands inhibit glucose-6-phosphate isomerase (GPI) peptide-induced arthritis. **Arthritis Res Ther** (in press)
- 198)Ito I, Kawasaki A, Ito S, Kondo S, Sugihara M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Takasaki Y, Hashimoto H, Matsuta K, **Sumida T**, Tsuchiya N. Replication of association between FAM167A(C8orf13)-BLK region and rheumatoid arthritis in a Japanese population. **Ann Rheum Dis** (in press).
- 199)Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Ito S, **Sumida T**. Inhibition of TGF- $\beta$  signaling attenuates IL-18 plus IL-2-induced interstitial lung disease. **Clin Exp Immunol** (in press)
- 200)Wang Y, Ito S, Chino Y, Goto D, Matsumoto I, Murata H, Tsutsumi A, Uchida K, Usui J, Yamagata K, **Sumida T**. Analysis of cytokine balance in lupus nephritis by laser-microdissection. **Clin Exp Immunol** (in press)
- 201)Inoue A, Matsumoto I, Tanaka Y, Iwanami K, Goto D, Ito S, **Sumida T**. Role of tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced adipose-related protein in autoimmune arthritis. **Arthritis Rheum Ther** (in press)
- 202)Tanaka-Watanabe Y, Matsumoto I, Iwanami K, Inoue A, Goto D, Ito S, Tsutsumi A, **Sumida T**. B cells have crucial role as autoantibody producers in arthritis mediated by glucose-6-phosphate isomerase. **Clin Exp Immunol** 155: 285-294, 2009.
- 203)Ito I, Kawasaki A, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Hom G, Graham RR, Takasaki Y, Hashimoto H, Ohashi J, Behrens TW, **Sumida T**, Tsuchiya N. Replication of the association between C8orf13-BLK region and systemic lupus erythematosus in a Japanese population. **Arthritis Rheum** 60: 553-558, 2009.
- 204)Kawaguchi Y, Wakamatsu E, Matsumoto I, Nishimagi E, Kamatani N, Satoh T, Kuwana M, **Sumida T**, Hara M. Muscarinic-3 acetylcholine receptor autoantibody in patients with systemic sclerosis: contribution to severe gastrointestinal tract dysmotility. **Ann Rheum Dis** 68: 710-714, 2009.
- 205)Suzuki T, Ito S, Handa S, Kose K, Okamoto Y, Minami M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, **Sumida T**. A new low-field extremity magnetic resonance imaging and proposed compact MRI score: evaluation of anti-tumor necrosis factor biologics on rheumatoid arthritis. **Mod Rheumatol** 19:

- 358-365, 2009.
- 206) Wakamatsu E, Matsumoto I, Yoshiga Y, Iwanami K, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Ito S, **Sumida T**. Altered peptide ligands regulate type II collagen-induced arthritis in mice. **Mod Rheumatol** 19: 366-371, 2009.
- 207) Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Hayashi T, Matsumoto I, Ito S, **Sumida T**. The decrement of soluble CD1d proteins affects the function of NKT cells in patients with rheumatoid arthritis. **Int J Mol Med** 24: 481-486, 2009.
- 208) Horikoshi M, Ito S, Ishikawa M, Umeda N, Kondo Y, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, **Sumida T**. Efficacy of mizoribine pulse therapy in rheumatoid arthritis patients with reduced or insufficient response to infliximab. **Mod Rheumatol** 19: 229-234, 2009.
- 209) Hase K, Kawano K, Nochi T, Pontes GS, Fukuda S, Ebisawa M, Kadokura K, Tobe T, Fujimura Y, Kawano S, Yabashi A, Waguri S, Nakato G, Kimura S, Murakami T, Iimura M, Hamura K, Fukuoka S, Lowe AW, Itoh K, **Kiyono H**, Ohno H. Uptake through glycoprotein 2 of FimH(+) bacteria by M cells initiates mucosal immune response. **Nature** 462: 226-30, 2009.
- 210) Knoop KA, Kumar N, Butler BR, Sakthivel SK, Taylor RT, Nochi T, Akiba H, Yagita H, **Kiyono H**, Williams IR. RANKL is necessary and sufficient to initiate development of antigen-sampling M cells in the intestinal epithelium. **J Immunol** 183: 5738-47, 2009.
- 211) Nagatake T, Fukuyama S, Kim DY, Goda K, Igarashi O, Sato S, Nochi T, Sagara H, Yokota Y, Jetten AM, Kaisho T, Akira S, Mimuro H, Sasakawa C, Fukui Y, Fujihashi K, Akiyama T, Inoue J, Penninger JM, Kunisawa J, **Kiyono H**. Id2-, RORgammat-, and LTbetaR-independent initiation of lymphoid organogenesis in ocular immunity. **J Immunol** 183: 5738-47, 2009.
- 212) Suzuki R, Nourani MR, Saino-Saito S, Abe H, Nochi T, **Kiyono H**, Spener F, Kondo H, Owada Y. Localization of fatty acid binding protein of epidermal type common to dendritic cells and presumptive macrophages in Peyer's patches and epithelial M cells of mouse intestine. **Histochem Cell Biol** in press 2009.
- 213) Yuki Y, **Kiyono H**. Mucosal vaccines: novel advances in technology and delivery. **Expert Rev Vaccines** 8: 1083-97, 2009.
- 214) Fujihashi K, **Kiyono H**. Mucosal immunosenescence: new developments and vaccines to control infectious diseases. **Trends Immunol** 30: 334-43, 2009.
- 215) Takahashi I, Nochi T, Yuki Y, **Kiyono H**. New horizon of mucosal immunity and vaccines. **Curr Opin Immunol** 21: 352-8, 2009.
- 216) Terahara K, Yoshida M, Taguchi F, Igarashi O, Nochi T, Gotoh Y, Yamamoto T, Tsunetsugu-Yokota Y, Beauchemin N, **Kiyono H**. Expression of newly identified secretory CEACAM1(a) isoforms in the intestinal epithelium. **Biochem Biophys Res Commun** 383: 340-6, 2009.

## 2. 学会発表

- 1) Iwamoto N, Kawakami A, Arima K, Nakamura H, Tamai M, Kawashiri S, Fujikawa K, Aramaki T, Kamachi M, Yamasaki S, Origuchi T, Ida H, **Eguchi K**. Monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) is important for mononuclear cell infiltration of salivary glands in

- patients with primary sjogren's syndrome (PSS). Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2009, 2009.6.10-13, Copenhagen, Denmark.
- 2) Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arima K, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Kawashiri S, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Aoyagi K, **Eguchi K**. A prediction rule for disease outcome in patients with undifferentiated arthritis using mri of wrists and finger joints and serologic autoantibodies. Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2009, 2009.6.10-13, Copenhagen, Denmark.
  - 3) Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Kawashiri S, Kita J, Okada A, Koga T, Aramaki T, Kamachi M, Yamasaki S, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, Aoyagi K, **Eguchi K**. A Prediction Rule for Disease Outcome in Patients with Undifferentiated Arthritis by MRI of the Wrists and Finger Joints and Serologic Autoantibodies: Second Report Regarding to the Utility of Plain MRI. ACR/ARHP Scientific Meeting, 2009.10.16-21, Philadelphia.
  - 4) Koga T, Migita K, Yamasaki S, Tamai M, Kawashiri S, Iwamoto N, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Kawakami A, **Eguchi K**. Serum Amyloid A Protein Stimulates Th17-Related Cytokines Production in Rheumatoid Synoviocytes. ACR/ARHP Scientific Meeting, 2009.10.16-21, Philadelphia.
  - 5) Tamai M, Kawakami A, Kawashiri S, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Ichinose K, Kamachi M, Arima K, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, **Eguchi K**. Anti-cyclic citrullinated peptide antibodies and genetic background as prognostic factors for the development of rheumatoid arthritis in patients with palindromic rheumatism. Annual European Congress of Rheumatology, 2008.6.11-14, Paris, France.
  - 6) Tamai M, Uetani M, Kawakami A, Fukushima A, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Kawashiri S, Aramaki T, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, **Eguchi K**. Bone changes detected by plain MRI of both wrists and finger joints in early-stage rheumatoid arthritis accurately reflect the bone changes in GD-enhanced MRI. Annual European Congress of Rheumatology, 2008.6.11-14, Paris, France.
  - 7) Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Aoyagi K, **Eguchi K**. Anti-cyclic citrullinated peptide antibody and magnetic resonance imaging-detection of bone marrow oedema are most important predictors in classification as well as prognostic evaluation of undifferentiated arthritis. 8<sup>th</sup> European League Against Rheumatism Annual European Congress of Rheumatology (EULAR 2007), 2007.6.13-6.16, Barcelona.
  - 8) Ida H, Aramaki T, Ichinose K, Kawakami A, Migita K, **Eguchi K**. TNF receptor-associated periodic syndrome (TRAPS) in Japan: Its prevalence and the characteristics of Japanese patients with TRAPS. American College of Rheumatology 71<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting (ACR 2007), 2007.11.6-11.11,

- Boston.
- 9) Aramaki T, Ida H, Nakamura H, Origuchi T, Kawakami A, Matsuoka N, **Eguchi K**. A decrease in natural killer cell activity in patients with rheumatoid arthritis during treatment with biologic agents: One of the risk factors for malignancy. American College of Rheumatology 71<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting (ACR 2007), 2007.11.6-11.11, Boston.
  - 10) Tamai M, Kawakami A, Uetani M, Takao S, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Kawashiri S, Iwanaga N, Izumi Y, Tanaka H, Aratake K, Kamachi M, Huang M, Nakamura H, Origuchi T, Ida H, Aoyagi K, **Eguchi K**. Prognostic evaluation of undifferentiated arthritis (UA) at baseline through magnetic resonance imaging (MRI)-detection of early joint damages and serologic variables: Results from the prospective clinical study. American College of Rheumatology 71<sup>th</sup> Annual Scientific Meeting (ACR 2007), 2007.11.6-11.11, Boston.
  - 11) 中浦美江, 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, **江口勝美**. シェーグレン症候群に合併した組織球性壊死性リンパ節炎(菊池病)の1例. 第284回日本内科学会九州地方会, 2009.1.24, 福岡.
  - 12) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 有馬和彦, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 上谷雅孝, 青柳 潔, **江口勝美**. 関節リウマチを早期に予測するには? 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 13) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 有馬和彦, 山崎聡士, 上谷雅孝, 青柳 潔, **江口勝美**. MRI 骨変化と自己抗体が陽性の UA に対する DMARDs 治療の評価. 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 14) 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 有馬和彦, 岩本直樹, 藤川敬太, 山崎聡士, 川尻真也, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳 潔, **江口勝美**. 診断未確定関節炎(UA)における非造影手関節 MRI の有用性の検討. 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 15) 有馬和彦, 岩本直樹, 玉井慎美, 折口智樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 蒲池 誠, 山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, **江口勝美**. 早期関節リウマチ患者での MRI 骨髄浮腫と MMP-1 遺伝子多型. 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 16) 右田清志, 古賀智裕, 鳥越雅史, 本川哲, 宮下賜一郎, **江口勝美**. 急性期蛋白による RA 滑膜からの CCL-20 の産生. 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 17) 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 有馬和彦, 岩本直樹, 藤川敬太, 川尻真也, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳 潔, **江口勝美**. 診断未確定関節炎の評価. 第53回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
  - 18) 岩本直樹, 藤川敬太, 玉井慎美, 中村

- 英樹, 折口智樹, 井田弘明, 上谷雅孝, 江口勝美. 関節リウマチにおける生物学的製剤投与前後の手関節 MRI の検討. 第 53 回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
- 19) 川尻真也, 川上 純, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 江口勝美. 関節リウマチにおける末梢血 CD4+CD25+CD127lo/- 制御性 T 細胞の検討. 第 53 回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
- 20) 江口勝美. 診断未確定関節炎の診断と治療. 第 53 回 日本リウマチ学会総会・学術集会, 2009.4.23-26, 東京.
- 21) 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 岩本直樹, 藤川敬太, 有馬和彦, 高尾正一郎, 折口智樹, 青柳 潔, 江口勝美. Leiden score と Nagasaki score を用いた診断未確定関節炎の評価. 第 106 回 日本内科学会講演会, 2009.4.10-12, 東京.
- 22) 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 有馬和彦, 喜多潤子, 岡田覚丈, 川尻真也, 古賀智裕, 岩本直樹, 山崎聡士, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳 潔, 江口勝美. 早期関節リウマチにおける抗 CCP 抗体価と骨破壊予測. 第 24 回 日本臨床リウマチ学会, 2009.11.20-21, 岩手.
- 23) 川尻真也, 岩本直樹, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美. 当科の関節リウマチ診療における関節超音波検査の活用法. 第 24 回 日本臨床リウマチ学会, 2009.11.20-21, 岩手.
- 24) 川尻真也, 川上 純, 江口勝美. 関節リウマチにおける末梢血 CD4+CD25+CD127low/- 制御性 T 細胞の検討. 第 37 回 日本臨床免疫学会総会, 2009.11.13-15, 東京.
- 25) 岩本直樹, 岡田覚丈, 喜多潤子, 古賀智裕, 川尻真也, 蒲池誠, 玉井慎美, 有馬和彦, 山崎聡士, 中村英樹, 折口智樹, 井田弘明, 川上 純, 上谷雅孝, 江口勝美. 関節リウマチにおける生物学的製剤投与前後の手関節 MRI の検討. 第 37 回 日本臨床免疫学会総会, 2009.11.13-15, 東京.
- 26) Tamai M, Kawakami A, Kawashiri S, Iwamoto N, Fujikawa K, Aramaki T, Ichinose K, Kamachi M, Arima K, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, **Eguchi K**. Anti-cyclic citrullinated peptide antibodies and genetic background as prognostic factors for the development of rheumatoid arthritis in patients with palindromic rheumatism. Annual European Congress of Rheumatology, 2008.6.11-14, Paris, France.
- 27) Tamai M, Uetani M, Kawakami A, Fukushima A, Arima K, Fujikawa K, Iwamoto N, Kawashiri S, Aramaki T, Ichinose K, Kamachi M, Nakamura H, Ida H, Origuchi T, **Eguchi K**. Bone changes detected by plain MRI of both wrists and finger joints in early-stage rheumatoid arthritis accurately reflect the bone changes in GD-enhanced MRI. Annual European Congress of Rheumatology, 2008.6.11-14, Paris, France.
- 28) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断と関節破壊進行の予測. 第 105 回 日本内科学会講演会, 2008.4.11-4.13, 東京.
- 29) 玉井慎美, 川上 純, 上谷雅孝, 福島 文, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 有馬和彦, 青柳 潔, 江口勝美.

- 単純 MRI の有用性：診断未確定関節炎の早期治療開始に向けて. 第 105 回日本内科学会講演会, 2008.4.11-4.13, 東京.
- 30) 江口勝美. MRI 画像による関節リウマチの早期診断予測と関節破壊進行予測. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 31) 井田弘明, 一瀬邦弘, 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 蒲池誠, 玉井慎美, 中村英樹, 折口智樹, 川上 純, 右田清志, 江口勝美. TRAPS 全国疫学調査と TRAPS が疑われた不明熱症例の検討. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 32) 井田弘明, 一瀬邦弘, 荒牧俊幸, 江口勝美. 本邦における自己炎症症候群の定義の検討. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 33) 古賀智裕, 右田清志, 宮下賜一郎, 鳥越雄史, 本川 哲, 江口勝美. 血清アミロイド A 蛋白の RA 滑膜細胞に対する影響. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 34) 玉井慎美, 上谷雅孝, 川上 純, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 有馬和彦, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 青柳潔, 江口勝美. 早期関節リウマチでの両手撮像 MRI. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 35) 江口勝美, 上谷雅孝, 川上 純, 玉井慎美. MRI 画像による関節リウマチの早期診断予測と関節破壊進行予測. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 36) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断予測と適切な治療. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 37) 荒牧俊幸, 井田弘明, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 一瀬邦弘, 中村英樹, 川上 純, 折口智樹, 中島宋敏, 塚田敏昭, 松岡直樹, 植木幸孝, 福田孝昭, 江口勝美. 多施設における関節リウマチに対するタクロリムスの使用成績(第二報). 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 38) 藤川敬太, 川上 純, 藤本 学, 桑名正隆, 佐藤伸一, 江口勝美. 皮膚筋炎で検出される抗 140kD 抗体および 140/155kD 抗体の臨床的意義. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 39) 川上 純, 玉井慎美, 藤川敬太, 岩本直樹, 川尻真也, 江口勝美. 抗 CCP 抗体と関節リウマチの診断・病態. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 40) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 上谷雅孝, 青柳 潔, 江口勝美.

- 抗 CCP 抗体と関節リウマチの診断・病態. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 41) 中島宗敏, 川上 純, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美. 関節リウマチの活動性マーカーとしての抗 CCP 抗体価の検討. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 42) 岩本直樹, 川上 純, 後藤明子, 福田孝昭, 柴富和貴, 田中史子, 河部庸次郎, 中島宗敏, 溝上明成, 松岡直樹, 塚田敏昭, 宮下賜一郎, 右田清志, 峰雅宣, 植木幸孝, 江口勝美. 関節リウマチに対するエタネルセプトの治療効果の検討: 併用抗リウマチ薬による層別化. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 43) 蒲池 誠, 荒牧俊幸, 藤川敬太, 岩本直樹, 一瀬邦弘, 川尻真也, 江口勝美. Monocyte(Mo)はリンパ球の NF- $\kappa$ B と CDKs/Cyclin 複合体活性を相反性に制御する: Nitric oxide(NO)産生による細胞間シグナルと mitochondrial hyperpolarization(MHP: ミトコンドリア過分極)の SLE における病態的意義の考察. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 44) 蒲池 誠, 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 一瀬邦弘, 江口勝美. ミゾリビン(MZR)が持つ mRNA splicing 調節作用の発見: MZR はリンパ球活性化により downregulate されていた caspase-8 の splice variant 発現を SR 蛋白質のリン酸化を低下させて upregulate する. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 45) 藤川敬太, 井田弘明, 川尻真也, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 折口智樹, 川上純, 植木幸孝, 江口勝美. 原発性肥厚性骨関節症の 3 症例. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 46) 笠木伸平, 河野誠司, 中澤 隆, 小柴賢洋, 一瀬邦弘, 井田弘明, 江口勝美. 周期性発熱を来たした筋炎の一症例. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 47) 右田清志, 宮下賜一郎, 古賀智裕, 鳥越雄史, 本川 哲, 中村 正, 井田弘明, 江口勝美. RA 患者における MEFV 遺伝子の検討. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 48) 川尻真也, 川上 純, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. 関節リウマチにおけるケモカイン CCL20 と生物学的製剤. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 49) 荒牧俊幸, 井田弘明, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 蒲池 誠, 中村英樹, 川上 純, 折口智樹, 松岡直樹, 江口勝美. 関節リウマチ(RA)に対する生物学的製剤によ



- る悪性腫瘍発生リスクの検討: ナチュラルキラー(NK)細胞への影響(第三報). 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 50) 川上 純, 藤川敬太, 岩永 希, 後藤明子, 福田孝昭, 本多靖洋, 中島宗敏, 河部庸次郎, 松岡直樹, 古山雅子, 右田清志, 塚田敏昭, 溝上明成, 峰 雅宣, 植木幸孝, 江口勝美. インフリキシマブ治療 2 年間の臨床評価. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 51) 塚田敏昭, 川上 純, 江口勝美, 井田弘明, 中村英樹. 高齢者における MTX 治療の問題点. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 52) 折口智樹, 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 玉井慎美, 井田弘明, 川上 純, 植木幸孝, 中島宗敏, 松岡直樹, 河部庸次郎, 福田孝昭, 峰 雅宣, 江口勝美. 関節リウマチ患者によるタクロリムスの QOL に対する評価. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 53) 一瀬邦弘, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 本多靖洋, 植木幸孝, 塚田敏昭, 江口勝美. ミゾリビン単回内服によるリウマチ性疾患の治療効果の検討. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 54) 森 源喜, 古賀智裕, 宮下賜一郎, 濱田久之, 右田清志, 江口勝美. 多発性筋炎に伴う間質性肺炎急性増悪に対しポリミキシン固相化カラム(PMX-DHP)・白血球除去療法(LCAP)を施行した一例. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 55) 川尻真也, 川上 純, 藤川敬太, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. 全身性エリテマトーデスに合併したインスリン受容体異常症 B 型の 2 例. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 56) 中村英樹, 川上 純, 岩本直樹, 井田弘明, 江口勝美. 唾液腺破壊からみた HTLV-1 関連シェーグレン症候群の特徴について. 第 52 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 第 17 回国際リウマチシンポジウム, 2008.4.20-4.23, 札幌.
- 57) 江口勝美. アダリムマブの適応と使い方. 第 29 回日本炎症・再生医学会, 2008.7.8-7.10, 東京.
- 58) 井田弘明, 一瀬邦弘, 荒牧俊幸, 川上純, 右田清志, 江口勝美. 本邦における自己炎症疾患の現状と定義の検討. 第 29 回日本炎症・再生医学会, 2008.7.8-7.10, 東京.
- 59) 川尻真也, 川上 純, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 江口勝美. 肺胞出血および急速進行性糸球体腎炎により再燃した顕微鏡的多発血管炎の

- 一例. 第282回九州地方会, 2008.8.23, 沖縄.
- 60) 荒牧俊幸, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美, 折口智樹, 塚田敏昭. 多発腱付着部炎を合併した全身性エリテマトーデスの一例. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 61) 川上 純, 玉井慎美, 岩本直樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 中島宗敏, 井田弘明, 折口智樹, 植木幸孝, 江口勝美. MRI 骨変化と自己抗体が陽性の診断未確定関節炎(UA)へのDMARDs治療. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 62) 折口智樹, 川尻真也, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 岩本直樹, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 川上 純, 江口勝美. 最近経験したChurg-Strauss症候群の3例. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 63) 野中文陽, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 川上 純, 江口勝美. 臨床的血球貪食症候群の合併が考えられた成人発症Still病6例の臨床経過および治療. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 64) 川上 純, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 中島宗敏, 宮下賜一郎, 右田清志, 寺田 馨, 植木幸孝, 江口勝美. トシリズマブによる関節リウマチの治療経験. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 65) 植木幸孝, 寺田 馨, 佐藤浩信, 川上 純, 江口勝美. RA診療における地域連携(地域連携パスを利用して). 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 66) 藤川敬太, 川上 純, 川尻真也, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 有馬和彦, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. TNF阻害薬により血管炎を来たした症例の検討. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 67) 塚田敏昭, 井上祐一, 川上 純, 江口勝美. 生物学的製剤使用中に非結核性抗酸菌症による気胸を合併した一例. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 68) 今立博子, 宮下賜一郎, 牧山純也, 今立俊輔, 古賀智裕, 後藤亮介, 大野直義, 濱田久之, 高山隼人, 右田清志, 伊東正博, 江崎宏典, 江口勝美. 心タンポナーデを来たしたリウマチ性心外膜炎の一例. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 69) 原口智佳子, 岩永 希, 川上 純, 島正義, 江口勝美. C型慢性肝炎に対するIFN療法後に多発筋炎を発症した一例. 第36回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 70) 玉井慎美, 川上 純, 中島宗敏, 島山史, 高原 耕, 溝上明成, 原 肇秀, 林徳眞吉, 大坪まゆみ, 山口哲治, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 有馬和彦, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. DIP関節炎と皮膚病変を呈した多中心生細網組織球症の2症例. 第

- 36 回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 71) 江口勝美. 関節リウマチの治療最前線—不治の病から治る時代への幕開け—. 第 36 回九州リウマチ学会, 2008.9.6-9.7, 佐賀.
- 72) 江口勝美. 関節リウマチの早期診断予測と適切な治療. 第 22 回日本臨床内科医学会, 2008.9.14-15, 長崎.
- 73) 藤川敬太, 川上 純, 加治賢三, 藤本学, 川尻真也, 岩本直樹, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 玉井慎美, 蒲池 誠, 中村英樹, 折口智樹, 井田弘明, 石本裕士, 迎 寛, 桑名正隆, 河野 茂, 竹原和彦, 佐藤伸一, 江口勝美. 皮膚筋炎で検出される 155/140kD 抗体および抗 ARS 抗体の臨床的意義. 第 36 回日本臨床免疫学会総会, 2008.10.17-10.18, 東京.
- 74) 野中文陽, 川尻真也, 岩本直樹, 藤川敬太, 荒牧俊幸, 蒲池 誠, 玉井慎美, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 川上純, 江口勝美. 臨床的血球貧食症候群の合併から考えられた成人発症 Still 病 6 例の臨床経過および治療. 第 36 回日本臨床免疫学会総会, 2008.10.17-10.18, 東京.
- 75) 川尻真也, 川上 純, 江口勝美. 関節リウマチにおけるケモカイン CCL20. 第 36 回日本臨床免疫学会総会, 2008.10.17-10.18, 東京.
- 76) 井田弘明, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 右田清志, 江口勝美. 不明熱と TNF レセプター関連周期熱症候群(TRAPS). 第 38 回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大会, 2008.11.7-11.9, 大阪.
- 77) 川上 純, 玉井慎美, 上谷雅孝, 青柳潔, 江口勝美. MRI と自己抗体を用いた早期関節炎の予後予測. 第 23 回日本臨床リウマチ学会, 2008.11.29-11.30, 横浜.
- 78) 玉井慎美, 川上 純, 有馬和彦, 藤川敬太, 岩本直樹, 川尻真也, 荒牧俊幸, 一瀬邦弘, 蒲池 誠, 中村英樹, 井田弘明, 折口智樹, 江口勝美. 関節リウマチにおける抗 CCP-2 抗体値の推移. 第 23 回日本臨床リウマチ学会, 2008.11.29-11.30, 横浜.
- 79) 蒲池 誠, 江口勝美. Nitric oxide によるヒト T 細胞分化が齎す IL-2 産生亢進と IL-6 産生低下を介した制御性 T 細胞の誘導. 第 38 回日本免疫学会総会・学術集会, 2008.12.1-12.3, 京都.
- 80) 寺井千尋, 森口正人, 桃原茂樹, 谷口敦夫, 原まさ子, 山中 寿. 喫煙が抗 CCP 抗体におよぼす影響の男女差. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 269, 2009
- 81) 森口正人, 神谷百合香, 寺井千尋. ANCA 関連血管炎分類のための新アルゴリズムの有用性-ACR 基準にて分類できなかつた限局型 Wegener 肉芽腫が疑われた 6 名への適応. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 208, 2009.
- 82) 森口正人, 神谷百合香, 寺井千尋. 全身性エリテマトーデス患者における脈波を用いた動脈硬化の解析. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 226, 2009.
- 83) 神谷百合香, 森口正人, 寺井千尋. 画像にて診断し得た分類不能大動脈炎の 7 例. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 209, 2009.

- 84) 渡辺恭孝, 森口正人, 津田篤太郎, 神谷百合香, 寺井千尋. Hypomyopathic dermatomyositis 合併間質性肺炎の臨床的特徴-生存例 2 例と死亡例 2 例の検討. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 378, 2009.
- 85) 小関由美, 森口正人, 寺井千尋, 北浜真理子, 桜井 正, 井上永介, 桃原茂樹, 谷口敦夫, 原まさ子, 山中 寿. eGFR による RA 患者の腎機能評価-IORRA コホートによる検討-. 第 53 回日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集, p 451, 2009.
- 86) 神谷百合香, 森口正人, 小田 彩, 桜井 正, 寺井千尋. 多発性筋炎に合併したインスリン受容体異常症 B 型の一例. 第 20 回日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム予稿集, p 13, 2008.
- 87) 小田 彩, 森口正人, 神谷百合香, 桜井 正, 寺井千尋. 関節リウマチに対するトシリズマブ投与中に化膿性椎間板炎を合併した一例. 第 20 回日本リウマチ学会関東支部学術集会プログラム予稿集, p 17, 2008.
- 88) Terao C, Ohmura K, Yamada R, Shimada K, Takasugi K, Kamatani N, Nakagome K, Lathrop M, **Mimori T**, Matsuda F. Identification of a novel genetic determinant of rheumatoid arthritis at chromosome 18q by a genome-wide association study (GWAS) approach using large-scale Japanese cohorts. EULAR2009, 2009.6.11-13, Copenhagen. (OP-0123)
- 89) Takano K, Ohmura K, Imura Y, Ono Y, Kawaguchi N, Shima A, Yukawa N, Kawabata D, Nojima T, Fujii T, Ohashi N, Umehara H, Saito M, Nishikomori R, **Mimori T**. Two cases of adult TRAPS (tumor necrosis factor-associated periodic syndrome) treated with etanercept. International Conference on Inflammation, 2009.7.8, Tokyo. (GA07.46)
- 90) 片山昌紀, 大村浩一郎, 三森経世ほか. SLE 病態における TNFRSF1A 遺伝子変異 (T61I) の関与. 第 37 回日本臨床免疫学会, 2009.11.13-14, 東京.
- 91) 土屋尚之. リウマチ性疾患の遺伝的背景-共通性と異質性. 第 53 回日本リウマチ学会総会シンポジウム, 2009.4.23-26, 東京. (リウマチ学会 2009 プログラム抄録集 p120)
- 92) 伊東郁恵, 川崎 綾, 伊藤 聡, 近藤裕也, 杉原誠人, 堀越正信, 林 太智, 後藤大輔, 松本 功, 堤 明人, 松多邦雄, 住田孝之, 土屋尚之. *C8orf13-BLK* 領域遺伝子多型と関節リウマチとの関連. 第 53 回日本リウマチ学会総会ワークショップ, 2009.4.23-26, 東京. (リウマチ学会 2009 プログラム抄録集 p288)
- 93) 川崎 綾, 伊東郁恵, 林 太智, 川口鎮司, 長谷川稔, 後藤大輔, 松本 功, 伊藤 聡, 堤 明人, 川本 学, 藤本学, 竹原和彦, 佐藤伸一, 原まさ子, 高崎芳成, 橋本博史, 住田孝之, 土屋尚之. *STAT4* 多型と全身性エリテマトーデスおよび全身性強皮症の関連. 第 53 回日本リウマチ学会総会, 2009.4.23-26, 東京. (リウマチ学会 2009 プログラム抄録集 p332)
- 94) 渡邊秀子, 林 太智, 川崎 綾, 若松英, 伊東郁恵, 後藤大輔, 松本 功, 伊藤 聡, 土屋尚之, 住田孝之. 全身